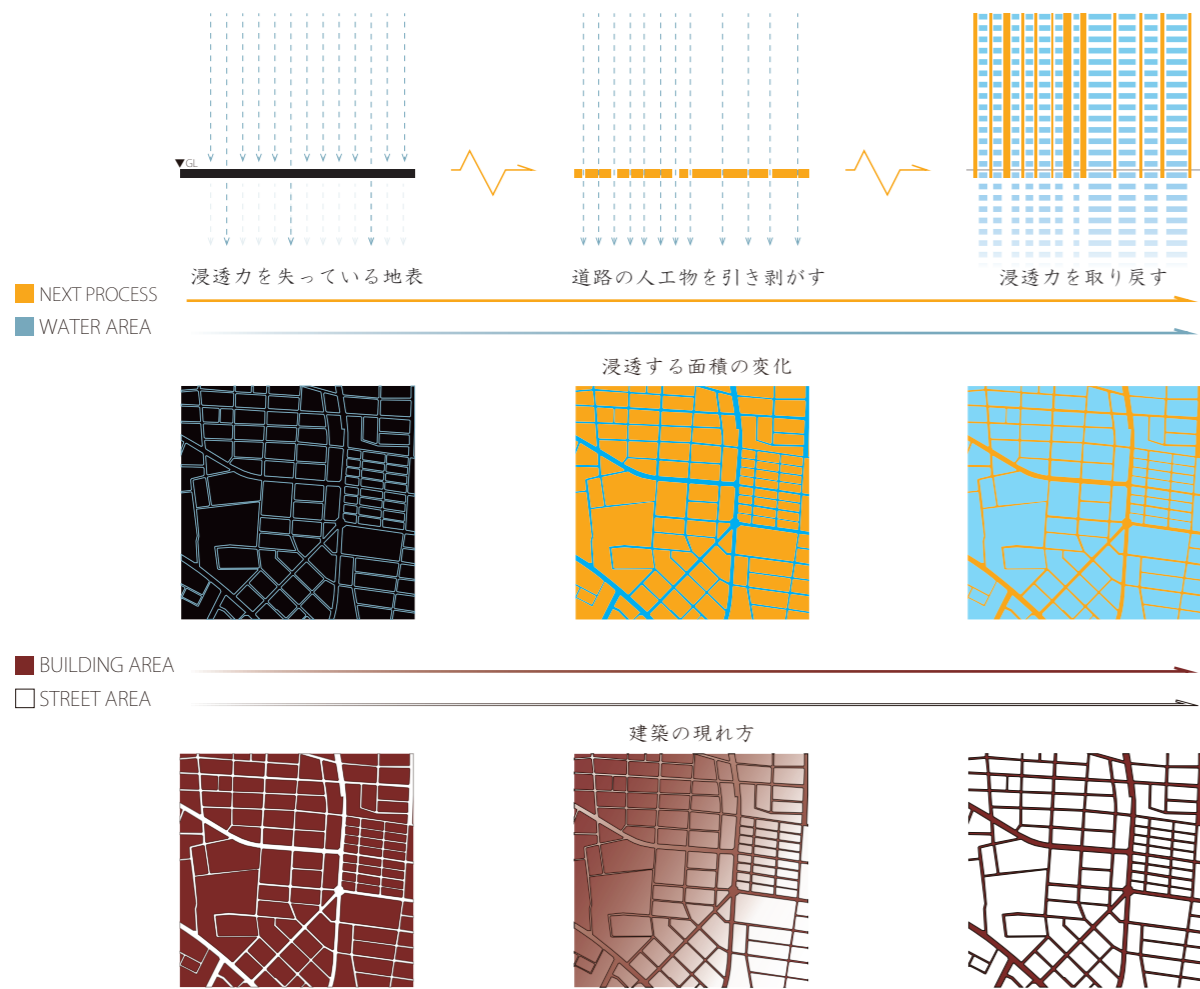


# 建築都市「序」

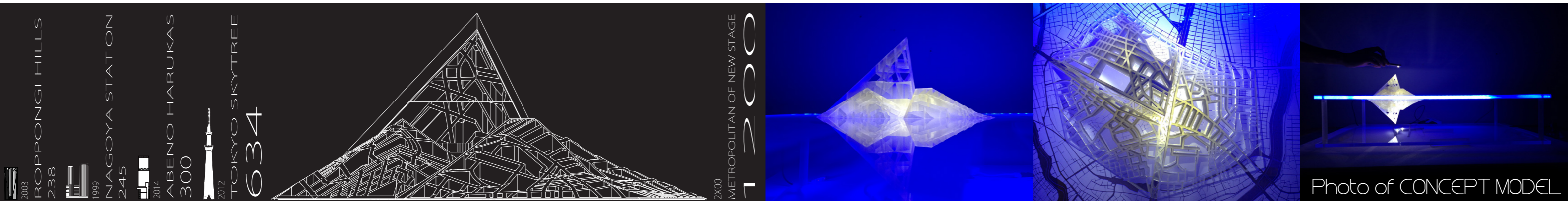
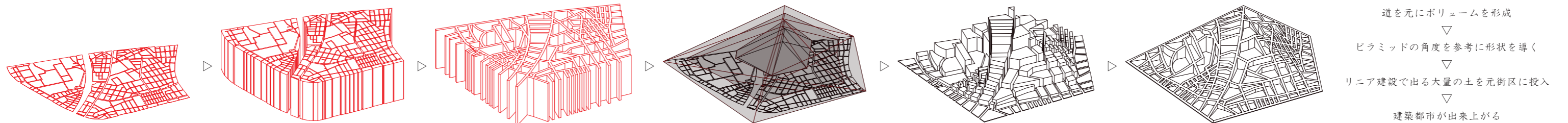
街の脆弱性を明らかにする異常気象。  
 人工物で覆われ、浸透力を失っている街。  
 引き起こされる都市型洪水、脅かされる人々の生活。  
 異常が日常へ変わるとき、街は建築と変わる。  
 道路を覆う人工物を引き剥がし、浸透力を取り戻す。  
 大地と共存し、自然に対して大きな許容力を持つ巨大な建築で成り立つ街へ変化していく。

## DIAGRAM

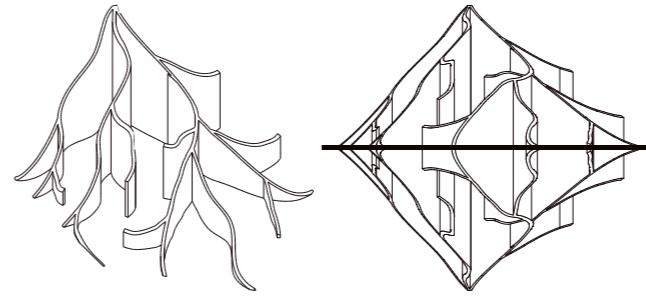


道を敷地にすることで、地中の基礎などを避け、建築することができる。  
 さらに既存の建築を残しつつ作ることができるので、仮施設に移行する必要がなく、大規模な開発が、スムーズに行える。

## SOLID DIAGRAM



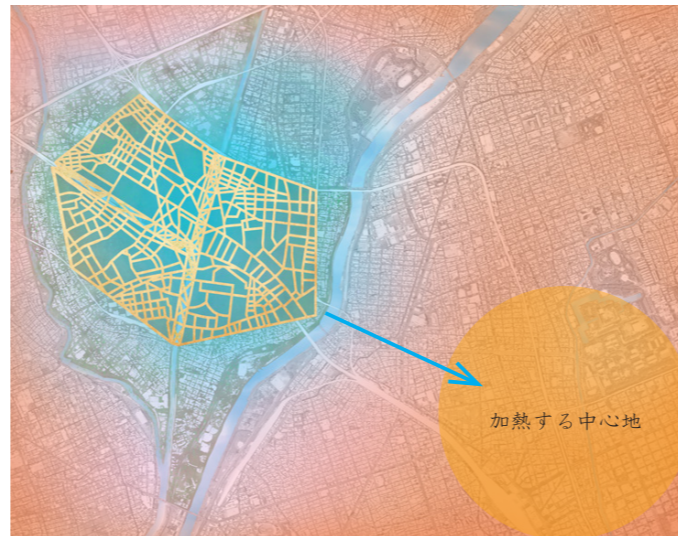
## サキシマス構造 - 自然からヒントを得る -



熱帯地域分布しているサキシマスオウノキ。  
 その木の根は、板根と呼ばれる特殊な根の形をしている。  
 地中の根だけでは、自らを支えきれないこの木は板のように縦に伸び、側面でも支えられる根をしている。  
 木は、地上部と同じくらいの深さの根がないと支えられないが、サキシマスオウノキが分布している土地は、根を深くまで伸ばせないところが多い。しかし、特殊な根の形状のおかげで大きく成長できている。  
 そのような自然の構造と地上部と同じ程度の深さの構造を持つことにより、建物全体の強度が強まる。

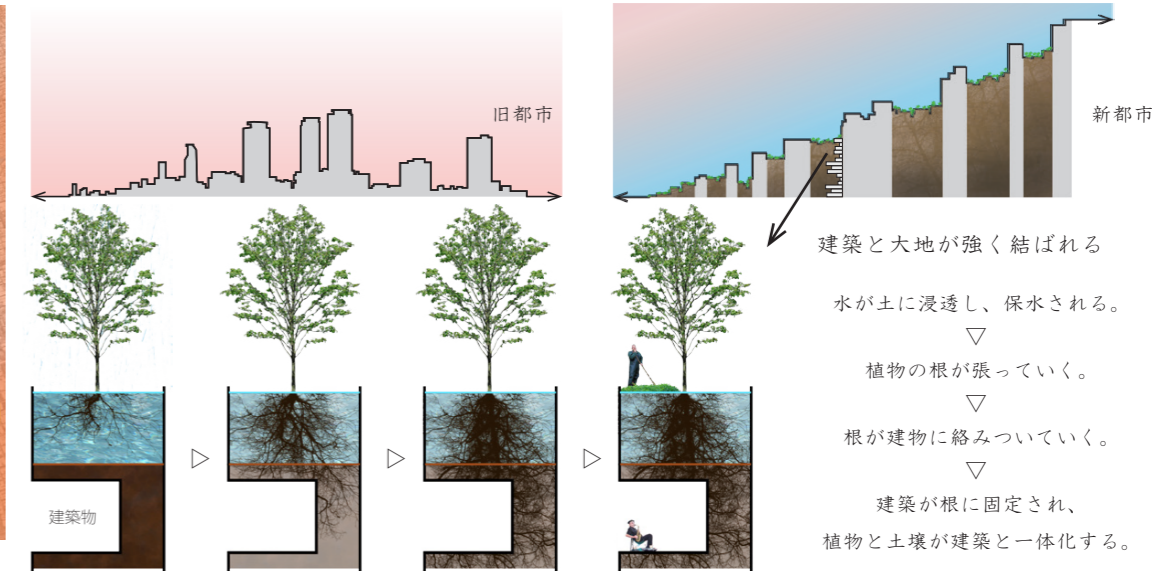
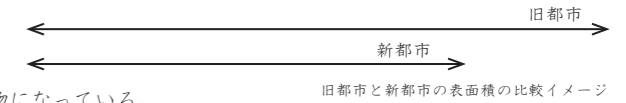
## COOL ISLAND - 旧都市へ捧ぐ新都市建築 -

都市の形態は、今まで発展することはあっても変わったことは無い。  
 新しい都市の形態は、大地と建築が一体化する。  
 大地に乗っているだけの今までの都市。  
 新しい都市は、大地と絡み合い、  
 ヒートアイランド現象に苦しむ旧都市へ涼しさを与えるものになる。

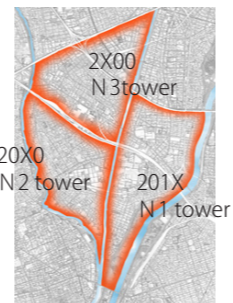


都市の表面積が減る新しい都市の形態

表面積の大きい都市は、より熱を持つ。  
 人工物で覆われた現在の都市は、巨大な蓄熱物になっている。  
 都市を大地と一体化させ、一つの建築から構成し、表面積を減らす。  
 さらに熱移動を抑制する新塗料でよりヒートアイランド現象を抑制する。



## 3 STEP - 環境と共に成長する街 -



水害に苦しむ1250Haの敷地に、3段階のプロセスでこの建築都市は完全に姿を現す。  
 1段階目は、日常的災害に強く作用し、将来へ備える。2段階目は、環境の変化を強く感じ、現実へ備える。3段階目は、大きく変化した環境を許容する。  
 巨大建築には、ジオポリマーコンクリートを使用し、CO2の排出を抑える。その修繕には、SRFを用いて、更なる強化を図る。  
 人類が環境の変化を抑制できなかった場合、計画と開発が進んでいく。  
 この建築都市は、地球温暖化や海面上昇の地球規模の変化にも対応し、人々を守っていく。

